

里親になりませんか ～10月は里親月間です～



さまざまな事情で親と離れて暮らさなければならない子どもを家族の一員として迎え入れ、深い愛情と理解をもって育ててくださる人を「里親」といいます。

現在、社会的な養護を必要とする子どもは県内500人以上いますが、里親家庭で暮らしているのは60人程度で、まだ県内の里親は少ない状況にあります。長崎県では多くの子どもたちが家庭的な環境で暮らせるよう、里親制度を推進し新しい里親を募集しています。

里親になるには

特別な資格などは必要ありません。

心身ともに健康で子どもの養育に理解と熱意、愛情がある人であればどなたでも申し込むことができます。

※研修の受講などの要件を満たすことが必要です。



里親の支援について

- ①各里親には、専門的な知識を有する相談員が担当につき、訪問や電話による相談を随時受け付けています。
- ②生活費や教育費など子どもに必要な養育費は公費で支払われます。
- ③定期的開催される養育技術に関する研修に無料で参加できます。
- ④里親同士のつながりを図るために県内の里親で構成された長崎県里親会主催の里親・里子交流会やサロンに参加できます。

※県では①～④以外にも充実した支援を行っています。

里親の種類

里親には4種類あります。

- 養育里親…子どもが自立するまで、または家庭復帰するまで養育
- 専門里親…非行や障害など専門的な援助を要する子どもを養育
- 養子縁組里親…養子縁組の成立を前提として養育
- 親族里親…実親が死亡や行方不明などの場合に祖父母などの親族が養育

里親出前講座のお知らせ

里親制度の概要や里親体験談を聞く事ができます。

11月7日(木) 午後1時～2時
西有家総合学習センターカマス 視聴覚室
要 無料
里親制度の説明・里親体験談・意見交換等
里親になりたい人、里親に興味がある人
長崎県里親育成センターすくすく
☎0957-53-7343

お問い合わせ

南島原市子ども未来課 ☎73-6652 Eメール: k-shien@city.minamishimabara.lg.jp
または 長崎県里親育成センター すくすく ☎0957-53-7343 Eメール: sukusuku@hikaritomidori.jp

長崎 里親制度 検索



軟式野球で全国大会出場



5月に開催された日本軟式野球の県大会で、加津佐タイガースが2年ぶり2回目の優勝を果たしました。決勝戦では、1点を追う4回表、加津佐タイガースが2点を奪い勝ち越し、その後7回にも1点を加え3対1で勝利しました。

8月23日、全国大会への出場権獲得を市長に報告しました。全日本軟式野球大会は10月18日から山口県で開催されます。

Focus in 南島原 まちの話題



ソフトバレーで九州大会出場を報告

6月に開催されたソフトバレー県予選の「トリム・ゴールドの部」と「トリム・シルバーの部」で、南島原チームが優秀な成績を収め、九州大会出場への切符を手に入れました。8月23日、選手たちが市役所を訪れ予選の結果と九州大会への出場を市長に報告しました。

いつまでもお元気で

106歳 市内最高齢



宮田 アキコさん(口之津町)
大正元年11月2日生まれ

敬老の日に合わせて、市内最高齢の宮田アキコさんが暮らす特別養護老人ホーム「アメニティいわど」(加津佐町)を市長が訪れ、長寿を祝いました。

宮田さんは大正元年生まれの106歳。好きな食べ物はパンやおいも。娘さんとお茶を楽しんだり、雑誌を読んだり、歌を歌ったりすることが好きとのこと。

市長からの「これからもお元気で」との声に笑顔で応えられました。



写真展「モノクローム南島原」に 580人が来場

本市シティプロモーション事業の一環として、写真展「モノクローム南島原」が深江町の旧山の寺分校で開催されました。

会場には、地元のフォトグラファー 小田原孝幸さんが、南島原市で力強く生きる人々を被写体に約2年間で撮り溜めた作品を展示。校舎の窓枠を額縁に見立てて写真を並べるなど、廃校舎の魅力が活かされていました。

訪れた人たちは、カラー写真では表現できない白と黒の味わい深い作品に目を楽しませていました。